

第199回 創薬科学セミナー

GTR セミナー / CIBoG セミナー

日時：2025年10月15日（水曜日）14:00～15:30

場所：創薬科学研究館2階 講義室

このセミナーは創薬科学研究科・先端薬科学特論の単位認定となります

講演タイトル：

微生物における緊縮応答制御 の温故知新

Revisiting the control of stress responses in microorganisms

講師：高田 啓 博士 Dr. Hiraku Takada

富山県立大学工学部生物工学科
応用生物情報学講座

講師 Lecture, Department of Biotechnology, Faculty of Engineering,
Toyama Prefectural University



微生物は、栄養枯渇や環境ストレスに直面すると「緊縮応答 (stringent response)」を発動し、代謝や増殖を大きく切り替えます。本講義では、ppGppを介した古典的制御モデルを振り返るとともに、RSH (RelA/SpoT Homolog) タンパク質が翻訳の停滞を感知し、ppGppを合成する分子機構を解説します。さらに、RSHファミリーの多様性や進化的起源を概観し、近年のゲノム解析や構造生物学的研究によって明らかになった新たな視点を紹介します。最後に、緊縮応答の理解が創薬研究や産業微生物の制御に持つ可能性についても議論したいと思います。

連絡先：創薬科学研究科 分子微生物学分野
饗場浩文 (aiba.hirofumi.k2@f.mail.nagoya-u.ac.jp 内線6803)